

藤島に新たな地域公共交通が発足 定期運行のふじつる号、デマンドのふれあい号とすまいる号



ジャンボタクシーのふじつる号

庄内交通の路線バス「鶴岡―清川線」が3月31日で廃止され、新たな「藤島地域公共交通」が4月1日発足。藤島地区地域活動センターでオープンセレモニーが行われました。運行をはじめたのは、ふじつる号、ふれあい号、すまいる号の3台です。

ふじつる号は、「路線定期運行」（予約なしの定時定路線）、

ふれあい号は、藤島南部地域、すまいる号は、藤島北部地域の「デマンド運行」（予約制）です。

デマンドから鶴岡市街地行きは、ふじつる号に「乗換」となります。

乗換場所は、JR藤島駅と幕野内です。

ふじつる号は、「鶴岡―清川線」の代替となり、10人乗り（乗客9人）のジャンボタクシー車両を使用します。

デマンド運行は、5人乗り（乗客4人）の小型タクシーです。運航日は、路線定期運行が、月曜日から金曜日まで、

デマンド運行が、月曜日から土曜日まで、祝日と年末年始は休業します。

運行本数は、路線定期運行が、上り2便、下り2便、デマンド運行が、往路（行き）4便、復路（帰り）4便です。

運行ルートは、路線定期運行が、京田橋―JR藤島駅―幕野内―黒沢眼科―（協立病院）までの25停留所、

鶴岡協立病院は、予約が必要で、予約がない場合は運行しません。

デマンド運行が、藤島市街地と乗換場所まで、長沼・八栄島地区は、三川ルート（火曜日）と庄内町ルート（木曜日）を設定。

運賃は、路線定期運行が、ゾーン料金制（100円～300円）で、障害者と小学生は半額、小学生未満は無料（保護者の同伴必要）、高校生に通学定期券も設定、庄内交通の高齢者割引定期券（ゴールドパス）が利用できます。

デマンド運行は、各地区内と藤島市街地（及び庄内町、三川町）に分け、200円～500円。

運営主体を地元住民とし、協議会に地元負担金（1世帯200円）を設定しました。

ふるさと賛歌

鈴木重雄（八色木）

幼い頃の遊び唄 ⑨ による、大正・昭和初期の幼い頃の遊び唄⑨
八色木の日向富さん

豊年歌え唄

一つとせ 広いたんぼに 春が来た
庭の梅にも 花が咲く
一声きかせて ホーホケキョ
二つとせ 深いかすみ に 包まれて
いななくお馬で 春田打ち
上作するよと 深耕する

三つとせ 水は流れる 小雨降る
良い種えらんで 蒔きおろす
水のかげひきき ゆだんなく
四つとせ 良き日えらんで 早生田植
並ぶすげ笠 姉妹
曲るしますますも 型次第
五つとせ 色よい青田に 玉のつゆ
ずい虫 いもちも 薬剤で

六つとせ 丈夫な稲草 作りましょ
無理な追いごえ するよりも
二人で精出す 田草取り
せめて四たびも 五つたびも

七つとせ 鳴子なるたび 雀とぶ
かかし立つたび 夕日さす
西も東も みなこがね
八つとせ 八株つかんで 一把とす

九つとせ 米の調製早場末
朝は はよから 夜明けまで
掃帚一枚 玉の汗

十とせ 十の俵も つみ重ね
家内そろそろ えびす顔
町中そろって 祝いましょ

藤島地域遺族会連合会の解散

藤島地域遺族会連合会（会長安藤正春）から、「解散のお知らせ」の文書が、3月14日付で地元議員に送られてきました。

「当会は公営数の減少、高齢化や役員のなり手不足により、会の継続、維持管理が困難となったため、令和7年3月31日をもって解散することになりました。」と記載されていました。

特別弔慰金

戦没者らの遺族に対する特別弔慰金55万円を支給する改正戦没者遺族特別弔慰金支給法が3月31日、成立。

対象は、恩給法の公務扶助料や遺族年金を受け取っていない戦没者らのきょうだいや子で、最も関係の近い1人。

厚生労働省によると、約57万人が支給対象となる見込み。

弔慰金は戦後20年の1965年から10年ごとに支給し、今回は2

015年より5万円増額し、額面27万5000円の国債（5年償還）を2回支給されます。

戦後80年が経過し、戦没者らのきょうだいや子どもが既に亡くなり、受給権が喪失している家庭が増えています。

■鶴岡市における戦没者数は、

鶴岡地区…2625柱
藤島地区…542柱
羽黒地区…432柱

榎引地区…425柱
朝日地区…341柱
温海地区…565柱
合計…4930柱
（護国神社（荘内神社）に祀られている数（市福祉課地域福祉係）



鶴岡市戦没者追悼式、今年4月24日

東田川史跡物語

島野嘉作の『墓誌』① 研究熱心

青山 崇

墓誌の撰文は高原謙二郎である。

氏は老農であったので京都府職員に招かれ福岡農法を講じ、また県会議員になり、大野村長も務めた地域の優れた人物であった。

当地では分からない家族関係などが記されており、私達にとって貴重な資料でもある。

次男だったが長男が早世し家を嗣いだ。そのため老農と思われる父から農業をよく仕込まれ、農法の理論と技を磨き熱心に研究した。

『墓誌』も「最毛掣術二長ス。明治二十年十一月静岡農業者技師二聘セラル。」と記録する。

さらに「同年明治二

動けば変わる 意見・要求を 政治へ

政権与党が過半数割れとなつて、国民の要求が通る可能性が開かれました。市政も同様に、声をあげれば変わります。体育館のトイレが壊れたままなど、意見・要求をお寄せください。

あなたの声を届けます

氏名
連絡先
切り抜いて、共産党市議団や
民報配布者にお渡しください

十年十月福岡県勸業試験場二奉職ス。勤務中賞ヲ受クルコト数回、君ノ此場ニ在ルヤ農学ノ講話ヲ開キ実地ニ施シ、大ニ感覺スル所アリ。」と記す。

山形県東田川郡に招聘されるまでの4年間に数回農業に関する賞を受け、独自の研究を基にした農学講話会を開き、実技してみせるので、参加者は大いに感銘したという。

以下原文である。

『君姓ハ島野名ハ嘉作、筑紫郡大野村山田ニ島

野嘉平ノ次男、嘉永二年（一八四九）三月十五日生ル、資性篤實ニシテ敏捷、兄嘉七早世ス君家ヲ嗣グ、父農事ヲ能クスルヲ以テ之ニ從ヒ研究スルコト多年、最毛掣術（りゅうじゆつ…すき）ニ長ス。明治二十年十一月静岡農業者技師ニ聘セラル。同年十月福岡県勸業試験場二奉職ス。勤務中賞ヲ受クルコト数回、君ノ此場ニ在ルヤ農学ノ講話ヲ開キ実地ニ施シ、大ニ感覺スル所アリ』



やっと出た解散命令

朝のNHKラジオに「今日は何の日」と言う時間があるが、歴史上の出来事が伝えられますが、「歴史人」と言う月刊誌があつて、その付録である曆に、ラジオ番組のように、その日の出来事が一件書いてあるんです。

▲その3月24日に江戸時代の人でワイロ政治で名前の聞いたことがある田沼意次。彼の

長男の田沼意知がこの日殿中で切られたという。この傷が元で彼は命を落とすんですが、忠臣蔵の浅野内匠頭のように即日切腹させられた佐野政言と言う人

世間から「世直し明神」と呼ばれたとあった。

▲そんなことから思つたのが、2年が過ぎても裁判が始まらない安倍晋三元首相の命を奪った男。旧統一教会あるがゆえに苦勞させら

れた宗教2世の彼等には、正に「世直し明神」に当たるのでは」と。

▲いつかも書いたんだが、殺人犯である獄中の彼にカンパが寄せられている実態があると。

▲そんな旧統一教会に田沼意知の死が関係する24日の次の日、25日に東京地裁から解散命令が出た。これが決まれば、宗教団体として活動はしてもいいが、法人としての資格がなくなるという事に。

▲つまり法人は、関係施設に固定資産税は課税されない特典があるが、それが無くなるという事だ。まゝ宗教施設と言うと広大な敷地だから、税額は小さく

なからうと思うよナ。▲しかし、教祖のお国には白垂のものすごい建物があった。日本から何百億円という金が送られたという報道は、一億円を超える人もいたとか。今はどうなんだろうか。（石川）